



平成23年10月21日
 会社名 フジオーゼックス株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉川 健三
 (コード番号 7299 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役 服部孝樹
 (TEL 0537-35-5873)
 当社の親会社 大同特殊鋼株式会社
 代表者 代表取締役社長 嶋尾 正
 (コード番号 5471 東証第1部、名証1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向等を踏まえ、平成23年6月22日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の業績予想を下記のとおりに修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成24年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	400	550	250	12.17
今回発表予想(B)	7,692	579	641	195	9.48
増減額(B-A)	492	179	91	△ 55	
増減率(%)	6.8	44.8	16.5	△ 22.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 平成23年3月期第2四半期	8,027	979	1,074	662	32.24

修正の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、一部景気に持ち直しに向けた動きがみられたものの、雇用情勢の持ち直しの鈍化、デフレ影響などの悪化懸念から、経済全体の先行きは不透明な状態が続きました。

このような経済環境の中、自動車業界につきましては、東日本大震災後の生産、消費の急激な落ち込みから物流網や電力などのインフラの回復、輪番操業等の安定稼働への取組により、自動車メーカー各社の生産は、ほぼ震災前の水準近くまで回復いたしました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益については当初予想を上回る見込みです。

四半期純利益につきましては当初計画に対しマイナスしておりますがこの要因は適格退職年金制度から確定拠出年金および確定給付年金制度への移行に伴う損失が当初想定に対し91百万円増加したことから計画値対比マイナスしたものであります。この詳細につきましては10月21日に開示いたしました「退職給付制度変更による特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期業績予想につきましては、震災復興需要と海外輸出を背景とした受注にささえられ、全体として回復傾向にあるものの新興国の景気拡大スピードの鈍化と欧州の債務問題の顕在化、米国国債の格下げに伴う円高など先行き不透明感がぬぐえないため当初の業績予想は修正しておりません。

以上